

大同・大崎がともに白星重ねて進撃

~第30回日本ハンドボールリーグ第10週~

第30回日本リーグ第10週は11月19日に愛知県、20日に富山県で男子のみ3試合が行われた。

20日、富山・高岡には、首位を争う大同特殊鋼と大崎電気が揃い踏み。故障で戦列を離れていた李才佑が復帰出場するなど、ベストに近づきつつある大同は、序盤から手堅いディフェンスでトヨタ紡織九州のミスを誘い、マイボールを松林の速攻や白元皓のミドル、カットインにつなげて、主導権をガッチリとキープ。後半、白元皓を密着マークするなどしたトヨタ紡織の仕掛けにもまったく動じなかった大同は、余裕たっぷりにタイムアップを迎え、開幕から9連勝。充実ぶりを見せつけた。

引き続いて行われた大崎電気 - ホンダ熊本戦は、様子をうかがい合った序盤から前半12分、9-5と大崎が抜け出しかけた。ホンダ熊本が中軸の若松を故障で欠いて戦力ダウンしていることもあり、このまま差は開くかに思われた。しかし、ホンダ熊本は詰めの甘い大崎ディフェンスを果敢に攻め、櫛田、上田らで反撃。GK藤田の好守もあって失点を最小限に食い止め、競り合いに持ち込んだ。後半、宮崎が流れを引き戻すシュートを連発して大崎はリードこそ保ったものの、後半だけで強打が光ったホンダ熊本・米満に6点を許すなど、集中力を欠き、リズムに乗り切れないままの展開。残り4分を切ってからの5連打で事なきを得たとはいえ、23日、埼玉で行われる大同との直接対決に不安を残す一戦となった。

その前日の19日、愛知・知立で行われたトヨタ車体 - 湧永製薬戦は、最後まで手に汗握る大接戦。前後半ともに流れをつかんでリードを奪ったトヨタ車体だったが、退場者を出し大きな波に乗るチャンスを逃がすと、湧永の守護神・坪根のファインセーブやポストの職人・山口の妙技でしぶとく盛り返された。残り1分、23-23の同点から、湧永・小沢が勝ち越しミドルシュート。この1点を懸命のディフェンスで守り抜き、ケガ人続出で苦しむ湧永が貴重な白星をゲット。逆に上位浮上につながる星を落としたトヨタ車体には、痛すぎる1点差敗退となった。

第11週の見どころ

第11週は男子のみ6試合が行われるが、なんといっても注目は全勝の大同特殊鋼と1敗で追う大崎電気の首位攻防戦だ。10月9日に行われた直接対決の1戦目は、大同が残り17秒で決勝点を奪う大熱戦だったが、今回も1点を争う好ゲームが期待される。大同・白元皓、大崎・宮崎の両エースを筆頭に名手たちが居並ぶハイレベルな試合を堪能したい。なお、次週はトヨタ車体、ホンダ熊本以外の5チームが2試合を消化するスケジュール。首位攻防戦を終えた後、大同はホンダ、大崎は湧永製薬と難敵が待ちかまえるだけに両チームにとっては正念場と言えるかもしれない。また、わずかな勝点差にひしめく中位陣にとっても大事な連戦になるのは間違いない。連勝に成功すれば、一気に浮上するチャンスだ。

第11週の日程

[1 部]

11月23日 水	埼玉・彩の国くまがやドーム(JR熊谷駅国際バス(犬塚行き 県立彩華園前下車))	14:00~(男) 大崎電気 × 大同特殊鋼
	三重・鈴鹿市体育館(近鉄線白子駅徒歩20分)	14:00~(男) ホンダ × 湧永製薬
	沖縄・沖縄県総合運動公園体育館(那覇空港から車60分)	13:30~(男) トヨタ紡織九州 × ホンダ熊本
11月26日 土	愛知・枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~(男) トヨタ車体 × トヨタ紡織九州
		15:00~(男) 大同特殊鋼 × ホンダ
11月27日 日	大阪・大阪市立住吉スポーツセンター(地下鉄御堂筋線あびこ駅徒歩10分)	13:00~(男) 湧永製薬 × 大崎電気



ケガから復帰した大同特殊鋼・李才佑



大崎電気・宮崎



北陸電力・落合

11月19日(土) 男子1部
愛知・知立市福祉体育館

湧永製薬 24 (11 - 11) 23 トヨタ車体
6勝0分3敗 2勝1分7敗

1/ 3 下 川 木 下 K <0/2>
4/4 1/ 3 浜 本 佐々木 0/ 1
0/ 1 福 田 伸 2/ 4
3/3 2/ 8 小 藤 野 村 8/14 0/1
0/ 0 東 近 藤 2/ 2
<1/2> K 坪 根 竹 下 1/ 3
0/1 3/ 5 小 沢 北 出 4/ 6
0/ 0 杉 山 田 平 K <1/6>
K 松 村 清 水 1/ 1
1/ 8 古 家 長 谷 川 1/ 2
0/ 0 渡 辺 崎 前 0/ 3
9/11 山 口 藤 田 1/ 4
安 藤 0/ 1 1/1
鶴 谷 2/ 7

7/8 17/39 7(FPP)15 22/48 1/2
審判(池渕・檜崎) 観客 917人

2部男子 北電快勝、合成は初勝利

2部男子は2試合が行なわれた。H C東京・北陸電力戦は、クリムスターの得点などで先行するH C東京を北電が得意の速い攻撃で追撃一進一退の展開となった。この熱戦を制したのは北電。残り10分18-18から杉山、前田で4連取した北電は、神田のシュートでダメ押し。H C東京を振り切った北電が無傷の開幕5連勝を飾った。一時は5点のリードを奪ったH C東京にとっては、終盤の失速が悔やまれるところ。

トヨタ自動車と対戦した豊田合成は、トヨタのエース福田への厳しい守備が奏効、糸田、佐藤らが確実に得点を重ね、25-19と快勝を収めた。豊田合成は、うれしい今シーズン初勝利。

男子2部個人賞レース(第10週終了)

得点王

1 桜井 涉	(北陸電力)	34 点	(5試合)
2 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	32 点	(4試合)
3 神田 友和	(北陸電力)	31 点	(5試合)
4 高田 哲志	(北陸電力)	20 点	(5試合)
5 佐藤 豪洋	(H C東京)	18 点	(4試合)
6 落合 信也	(北陸電力)	17 点	(5試合)
6 高橋 準	(北陸電力)	17 点	(5試合)
6 前田 亮介	(北陸電力)	17 点	(5試合)
9 水野 裕矢	(H C東京)	15 点	(3試合)
10 武藤 崇之	(H C東京)	13 点	(3試合)
10 糸田 浩太	(H C東京)	13 点	(4試合)
12 原 貴之	(H C東京)	12 点	(4試合)
13 山越雄一朗	(H C東京)	11 点	(4試合)
14 倉田 正洋	(トヨタ自動車)	10 点	(4試合)
14 吉永 英司	(トヨタ自動車)	10 点	(4試合)

フィールド得点賞

1 神田 友和	(北陸電力)	31 点	(5試合)
2 高田 哲志	(北陸電力)	20 点	(5試合)
3 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	19 点	(4試合)
4 佐藤 豪洋	(豊田合成)	18 点	(4試合)
5 落合 信也	(北陸電力)	17 点	(5試合)
5 高橋 準	(北陸電力)	17 点	(5試合)
5 前田 亮介	(北陸電力)	17 点	(5試合)

11月20日(土) 男子1部
富山・高岡市竹平記念体育馆

大同特殊鋼 37 (20 - 11) 28 トヨタ紡織
9勝0分0敗 4勝0分6敗

<0/1> K 萩 田 中 畠 3/10
7/ 8 松 林 村 上 直 1/ 5
8/11 末 松 植 木 1/ 1
0/ 0 豊 村 村 上 秀 8/ 9
吳相民 6/10
0/ 0 市 原 佐 久 間 0/ 0
3/ 4 武 田 鶴 田 0/ 1
0/ 0 富 畠 中 田 中 慎 0/ 0
4/ 5 大 田 阪 0/ 0
1/1 2/ 7 李 才 佑 谷 川 K <1/3>
0/ 0 渡 遺 石 黒 3/ 4 1/1
K 高 木 松 野 K <1/1>
1/3 8/15 白 元 喆 朴 正 鎮 3/ 3
3/ 3 渡 久 川 藤 山 2/ 2

7/8 17/39 7(FPP)15 22/48 1/2
審判(池渕・檜崎) 観客 917人

11月19日(土) 男子2部
愛知・知立市福祉体育馆

豊田合成 25 (13 - 12) 19 トヨタ 自動車
1勝0分3敗 1勝0分3敗

0/ 0 石 橋 山 本 K <1/1>
1/ 8 原 三 上 3/ 6
0/ 0 坂 大 塚 0/ 2
3/ 5 山 越 吉 永 2/ 6
0/ 0 高 橋 倉 田 0/ 0
1/ 3 桶 谷 佐 藤 K <0/1>
2/3 0/ 0 門 野 澤 田 1/ 2
6/12 糸 田 土 肥 0/ 0
2/ 2 湯 脇 曾 0/ 0
K 名 倉 稲 本 K <0/1>
3/12 佐 藤 香 井 2/ 8
3/10 半 田 岡 村 0/ 2
4/ 8 山 田 福 田 5/13 2/2
0/ 0 吉 田 金 子 4/ 6

2/3 23/60 9(FPP)11 17/45 2/2
審判(楓・田中) 観客 362人

11月20日(土) 男子1部
富山・高岡市竹平記念体育馆

大崎電気 38 (17 - 16) 31 ホンダ熊本
8勝0分1敗 0勝0分10敗

K 浦 和 藤 田 K <0/1>
7/10 豊 田 大 宮 6/16
0/ 0 加 藤 満 7/ 9
1/2 0/ 0 前 田 上 田 5/ 5 0/1
1/ 2 中 川 本 多 0/ 0
3/ 3 佐 藤 大 井 3/12
3/ 4 永 佐 伯 3/ 5
2/ 5 岩 松 松 岡 K
1/1 1/ 1 森 本 松 本 0/ 0
4/ 7 太 田 松 延 K <1/2>
<1/1> K 濱 池 田 2/ 3
4/ 4 東 樅 田 5/10

7/12 宮 崎

11月20日(日) 男子2部
東京・駒沢屋内球技場

北陸電力 27 (10 - 10) 20 H C東京
5勝0分0敗 1勝0分2敗

K 西 田 K・レフラー 0/ 0
5/ 6 高 橋 武 藤 1/ 2 3/4
2/ 8 神 田 泉 0/ 0
2/ 4 洛 合 田 中 4/ 9
5/7 4/ 9 桜 井 宇田川竜 K <1/4>
3/ 8 前 田 水 野 1/ 2
2/ 5 高 田 木 村 3/ 6
4/ 7 杉 山 須 藤 0/ 0
0/ 0 北 村 宇田川敏 K <1/3>
0/ 0 表 五 島 0/ 4
K 安 藤 古 川 2/ 4
佐 藤 啓 0/ 1
飯 島 0/ 0
ゲリムスター 6/18 0/1

2/3 22/47 5(FPP)31 17/46 3/5
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 376人

シユート率賞

1 落合 信也	(北陸電力)	0.708	17点 /24
2 高田 哲志	(北陸電力)	0.645	20点 /31
3 水野 裕矢	(H C東京)	0.625	15点 /24
4 神田 友和	(北陸電力)	0.554	31点 /56
5 高橋 準	(北陸電力)	0.486	17点 /35
6 糸田 浩太	(H C東京)	0.481	13点 /27
7 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	0.475	19点 /40

7mスロー得点賞

1 桜井 涉	(北陸電力)	19 点	(5試合)
2 福田 拓馬	(トヨタ自動車)	13 点	(4試合)
3 武藤 崇之	(H C東京)	9 点	(3試合)
4 門野 学	(H C東京)	4 点	(4試合)
5 原 貴之	(H C東京)	2 点	(4試合)

7mスロー阻止率賞

1 安藤 功規	(北陸電力)	0.333	2本 /6射
2 有江 啓	(北陸電力)	0.273	3本 /11射
3 宇田川敏郎	(H C東京)	0.143	1本 /7射
4 山本 敏	(トヨタ自動車)	0.125	1本 /8射
5 宇田川竜也	(H C東京)	0.111	1本 /9射

選手・役員登録情報

男子1部 湧永製薬

20 中山 剛 1969.7.4 191cm 右 久留米工大附高 福岡大 11月27日より出場可能

トヨタ車体

11月21日付 登録抹消 監督・選手 15 吉田 聰

男女1部個人賞レース 第10週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	86 点	(9試合)	1 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	48 点	(5試合)
2 野 村 広 明 (トヨタ車体)	57 点	(8試合)	2 郭 恵 静 (ソニー)	44 点	(5試合)
3 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	56 点	(10試合)	3 田 中 美 音 子 (ソニー)	40 点	(5試合)
3 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	56 点	(9試合)	4 佐 藤 由 紀 恵 (H C 名古屋)	36 点	(6試合)
3 末 松 誠 (大同特殊鋼)	56 点	(9試合)	5 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	29 点	(6試合)
6 小 倉 学 (ホンダ)	50 点	(9試合)	6 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	26 点	(6試合)
7 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	49 点	(10試合)	7 富 田 有 美 (オムロン)	25 点	(5試合)
8 東 俊 介 (大崎電気)	48 点	(9試合)	7 中 村 尚 美 (北国銀行)	25 点	(5試合)
8 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	48 点	(8試合)	7 東 濱 裕 子 (オムロン)	25 点	(6試合)
10 豊 田 賢 治 (大崎電気)	46 点	(9試合)	10 水 野 恵 子 (オムロン)	23 点	(6試合)
10 石 黒 将 之 (トヨタ紡織九州)	46 点	(10試合)	11 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	22 点	(6試合)
12 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	44 点	(10試合)	11 杉 本 絵 美 (メイプルレッズ)	22 点	(6試合)
13 下 川 真 良 (湧永製薬)	42 点	(9試合)	13 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	20 点	(6試合)
14 山 口 修 (湧永製薬)	41 点	(9試合)	13 武 井 夏 紀 (北国銀行)	20 点	(5試合)
15 古 家 雅 之 (湧永製薬)	38 点	(9試合)	15 上 町 史 織 (北国銀行)	19 点	(5試合)

フィールド得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	64 点	(9試合)	1 郭 恵 静 (ソニー)	37 点	(5試合)
2 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	56 点	(10試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34 点	(5試合)
2 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	56 点	(9試合)	3 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	29 点	(6試合)
4 末 松 誠 (大同特殊鋼)	55 点	(9試合)	4 田 中 美 音 子 (ソニー)	28 点	(5試合)
5 小 倉 学 (ホンダ)	50 点	(9試合)	4 佐 藤 由 紀 恵 (H C 名古屋)	28 点	(6試合)
6 東 俊 介 (大崎電気)	48 点	(9試合)	6 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	26 点	(6試合)
7 趙 範 衍 (大同特殊鋼)	47 点	(8試合)	7 東 濱 裕 子 (オムロン)	25 点	(6試合)
7 野 村 広 明 (トヨタ車体)	47 点	(8試合)	8 水 野 恵 子 (オムロン)	22 点	(6試合)
9 豊 田 賢 治 (大崎電気)	46 点	(9試合)	8 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	22 点	(6試合)
10 下 川 真 良 (湧永製薬)	42 点	(9試合)	10 青 戸 あ か ね (メイプルレッズ)	20 点	(6試合)
10 中 畠 嘉 之 (トヨタ紡織九州)	42 点	(10試合)	10 武 井 夏 紀 (北国銀行)	20 点	(5試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 東 俊 介 (大崎電気)	48点 / 63射	0.762	1 水 野 恵 子 (オムロン)	22点 / 34射	0.647
2 豊 田 賢 治 (大崎電気)	46点 / 69射	0.667	1 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	22点 / 34射	0.647
3 下 川 真 良 (湧永製薬)	42点 / 64射	0.656	3 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	26点 / 41射	0.634
4 村 上 秀 行 (トヨタ紡織九州)	56点 / 87射	0.644	4 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	29点 / 46射	0.630
5 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	56点 / 91射	0.615	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	34点 / 55射	0.618

7mスロー得点賞

1 白 元 喆 (大同特殊鋼)	22 点	(9試合)	1 富 田 有 美 (オムロン)	25 点	(5試合)
2 野 村 広 明 (トヨタ車体)	10 点	(8試合)	2 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	14 点	(5試合)
2 前 田 誠 一 (大崎電気)	10 点	(9試合)	3 田 中 美 音 子 (ソニー)	12 点	(5試合)
4 吳 相 民 (トヨタ紡織九州)	9 点	(10試合)	4 吉 田 祥 子 (オムロン)	11 点	(4試合)
4 加 藤 圭 介 (ホンダ)	9 点	(7試合)	5 中 村 尚 美 (北国銀行)	9 点	(5試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のG Kが対象)

1 濱 口 靖 (大崎電気)	4本 / 9射	0.444	1 高 森 紗 子 (メイプルレッズ)	5本 / 10射	0.500
2 田 平 龍 太 郎 (トヨタ車体)	10本 / 32射	0.313	2 田 代 ひ ろ み (北国銀行)	9本 / 23射	0.391
2 谷 川 一 寿 (トヨタ紡織九州)	5本 / 16射	0.313	3 吉 村 あ ゆ み (H C 名古屋)	3本 / 8射	0.375
4 荻 田 圭 (大同特殊鋼)	3本 / 11射	0.273	4 勝 田 祥 子 (オムロン)	5本 / 16射	0.313
5 坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	4本 / 16射	0.250	5 木 泽 尚 子 (北国銀行)	3本 / 12射	0.250

第30回日本ハンドボールリーグ成績表

第10週終了 11月20日

順位	1部男子	大同特殊鋼	大崎電気	湧永製薬	トヨタ紡織九州	ホンダ	トヨタ車体	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		33	32	37 37	35	37 30	32 36	9	9	0	0	18	309	244	65
2	大崎電気	32		32	29 39	41	39 37	32 38	9	8	0	1	16	319	260	59
3	湧永製薬	31	31		25 26	28	28 24	25 24	9	6	0	3	12	242	222	20
4	トヨタ紡織九州	31 28	28 30	24 28		32 30	25	31	10	4	0	6	8	287	304	-17
5	ホンダ	30	32	21	30 25		27 25	33 31	9	3	1	5	7	254	260	-6
6	トヨタ車体	30 21	20 29	24 23	30	25 25		31	10	2	1	7	5	258	300	-42
7	ホンダ熊本	20 21	26 31	15 23	26	24 20	28		10	0	0	10	0	234	313	-79

順位	1部女子	メイフルレッスン	オムロン	ソニー	北国銀行	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイフルレッスン		30	42	32 30	28 26	6	6	0	0	12	188	147	41
2	オムロン	27		28 26	30	38 35	6	5	0	1	10	184	132	52
3	ソニー・セミコンダクタ九州	37	25 25		34	39	5	2	0	3	4	160	149	11
4	北国銀行	27 18	21	31		29	5	1	0	4	2	126	146	-20
5	H C 名古屋	24 14	20 11	22	20		6	0	0	6	0	111	195	-84

順位	2部男子	北陸電力	H C 東京	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力		23 27	29 39	28	5	5	0	0	10	146	102	44
2	H C 東京	21 20			24	3	1	0	2	2	65	70	-5
3	豊田合成	18 19			25 25	4	1	0	3	2	87	115	-28
4	トヨタ自動車	24	20	28 19		4	1	0	3	2	91	102	-11

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。